



STAND BY YOU MOVE FORWARD WITH YOU

医療法人社団 保健会

谷津保健病院

YATSU
HOKEN HOSPITAL

ありのままの自分でいい





理念

谷津干潟

国指定谷津鳥獣保護区
ラムサール条約登録地
当院から徒歩8分

思いやり・成長・信頼

思いやりを大切に、
成長を自分と職場に、
信頼される医療をより多くの方に

行動指針

利用者、職員への思いやりを大切にします。
患者一人ひとりにとって最良の医療者を目指します。
医療の質向上のために成長・変革をし続けます。
地域の信頼に応え、地域を支えるトータルヘルスケアをリードします。
職場の良好な経営・環境づくりに努めます。



消化器疾患、糖尿病疾患、乳腺疾患、
高齢者医療に力を入れています。

内科・循環器内科

「内科」全体の領域を総合的に診療しています。様々な領域の内科専門医が連携し、複数の基礎疾患をかかえた高齢患者さんの入院治療にも対応し、高次医療機関や地域の先生方と共同して地域の医療・福祉に貢献しております。同一法人の東京湾岸リハビリテーション病院との連携で、患者さんの社会復帰も支援しています。



糖尿病内科

糖尿病は近年、その病態の解析、診断、治療の面において、飛躍的に進歩した分野といえます。また、内分泌疾患は、甲状腺疾患のみならず、普段あまり聞きなれない病気もたくさんありますが、適切な診断、治療を行うことにより患者さんの予後とQOLを大きく改善することができます。当科では患者さん個々の病態を把握し、生活に合わせたオーダーメイドの治療をめざしています。



乳腺外科

当院は地域乳腺診療の中心的な役割を担い、年間約100例の乳がん手術療法を中心に科学的エビデンス、ガイドラインに基づいた集学的治療を行っています。乳がん検診にも注力しています。千葉県がん診療連携協力病院として地域の方の乳腺の健康を守る診療を心がけています。



消化器内科

常勤医3名を中心に、上下部消化管疾患、炎症性腸疾患、肝臓疾患など、幅広く診療しています。特に内視鏡検査、治療には力を入れており、年間に4000件以上の内視鏡検査を実施しています。内視鏡治療は、ESD（内視鏡的粘膜下層切開剥離術）、EMR（内視鏡的粘膜切除術）、消化管ステント、消化管出血止血術、ERCP（内視鏡的逆行性膵胆管造影）による碎石・採石などを行っています。コメディカルとの協力によるチーム医療を心がけています。



外科

胃・大腸・肝・胆・膵の癌の手術と鼠経ヘルニア・虫垂炎・痔などの一般外科手術が年間400件超あり、鏡視下および直視下で行っています。上下部内視鏡やエコー下穿刺手技、ベッドサイド手技も多数あり、外科医に必要な技術が幅広く学べます。



整形外科

腰椎椎間板ヘルニア等の脊椎疾患や、外傷による骨折治療を中心に、人工関節・高齢者疾患等、幅広く対応しています。看護師・リハビリ科と共に適宜勉強会を行い、整形外科疾患が初めての方や不慣れな方でも一から学べる環境です。



泌尿器科

前立腺肥大症、過活動膀胱などの排尿障害をきたす疾病の薬物治療や、前立腺癌・膀胱癌・腎癌等の尿路性器悪性腫瘍の診断及び一部の治療を行っています。排尿自立支援チームによる、入院患者さんの排尿管理も行っています。



私達が支えます

リウマチ膠原病内科

関節リウマチや、全身性エリテマトーデスなどの膠原病の診療をしております。経過が長期にわたる方が多く、コメディカルとコミュニケーションをとりながら、患者さん一人一人の希望にあった医療を提供するよう心がけています。

急性期から長期療養まで、
地域を支える総合医療を提供します

脳神経外科

単純な頭部外傷から、高齢者に多い脳梗塞や、慢性硬膜下血腫及び重症頭部外傷や脳卒中の緊急手術まで幅広く診療しています。一次脳卒中センターとして地域医療の一端を担っています。



無くてはならない役割がここにある

放射線科

放射線科医の業務は主としてCT・MRIの読影です。当院以外にも同じ法人の運営する関連病院の読影も担い、検診から終末期まで幅広い疾患を診ることで地域医療に貢献できるよう努めています。

麻酔科

常勤麻酔科専門医2名ですべての手術の麻酔管理を担当しています。日勤帯に患者が病棟に戻れるように、手術室看護師と一緒に、効率的な手術室運営を心がけています。

婦人科

常勤医2名にて、内視鏡手術や円錐切除などの低侵襲手術を主に、毎月約15件の婦人科手術を行っています。外来では様々な婦人科疾患に対応しています。患者様一人一人のライフスタイルに沿った治療法の提案、実施を心がけています。



理念

思いやりとやさしさを大切に、
一人ひとりの持てる力が十分に発揮できる看護を提供します

基本方針

- 個別性を尊重し、安全で安心な看護を提供します
- 看護の質向上のため、自己成長に努めます
- 地域の信頼に応え、健康を支える看護を提供します
- 組織の一員として、健全な病院運営、働きやすい職場づくりに努めます

「ありがとう。あなたでよかった」
と言ってもらえる職場に

部長挨拶

私たち看護部は、地域の皆さんが安心して療養できるように、思いやりとやさしさを大切にしています。

また、患者さんの「持てる力」が発揮できるような看護提供に努めています。

看護師クリニカルラダーに基づいた教育を行い、専門職として自己成長・自己実現できる看護師の育成を目指します。信頼関係を大切にしたチーム医療を推進、働き続けられる職場づくりにも取り組んでいます。

当院の「地域を支える総合医療の提供」という使命と共に、地域の皆様に必要とされる看護を提供して参ります。

あなたの「やりたい看護」が、当院にとっての「必要な看護」になるように、共に看護を繋いでいきましょう。

看護部長 富樫 嘉子



私たちの領域



糖尿病外来 看護専門外来

患者さんとご家族が、糖尿病と上手に向き合いながら、その人らしく療養生活が送れるようにサポートさせていただきます。糖尿病看護認定看護師、糖尿病療養指導士が中心となり、日常生活・治療・療養についての相談に応じ、患者さんのQOLを維持、促進することを目的としています。糖尿病透析予防指導・合併症予防指導・インスリンポンプ外来・インスリン導入指導・持続血糖測定器を用いた血糖パターンマネジメントを主に行っています。



看護補助者

看護補助者の業務内容は、看護師と共に患者さんの日常生活のお世話や、療養環境の整備、検査などの移送業務、備品の管理などを行います。患者さんと接することで、感謝されることも多く、やりがいがある仕事です。



先輩の声

私は外来に所属し、救急外来や化学療法室、処置室での看護を中心に仕事をしています。働き始めてからは看護技術の習得に苦労しましたが、教育指導が手厚く、経験を積んだ看護師が多く働いているため、わからないことはすぐに聞ける環境にありました。また、教育研修が月1回行われ、看護技術、看護の視点などを指導してもらえます。事例検討会も年に1回あり、自分の看護が患者さんにとって適切であったかを考えるきっかけになっています。



概要

リハビリテーション科には理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、リハビリ助手が所属しています。急性期病棟と地域包括ケア病棟の患者さんにリハビリテーションを提供し、脳卒中や頭部外傷などの脳血管疾患、整形外科疾患、呼吸器疾患や心疾患などの内科疾患、がんを含む外科疾患や緩和ケアなど、さまざまな疾患に対応しています。また、当院は認定理学療法士『呼吸』の臨床認定カリキュラム教育機関に認定されています。

高いプロ意識をもって仕事に取り組む
あなたの思いが社会に必要とされています
仲間と一緒に大きく成長できる環境がある

法人内に回復期、生活期（デイケア・訪問リハ）の施設を有しており、ジョブローテーションを通じて、すべての病期の経験を積むことができます。

先輩の声

新卒で入社し、はじめは回復期病棟で勤務していました。3年目になって当院の急性期病棟に異動し、現在まで様々な診療科の患者さんのリハビリテーションに関わってきました。初めは分からないことばかりでしたが、リハビリの進め方や治療経過などをきめ細く教えてくださる医師の先生方、患者さんの些細な変化やご希望などにいち早く気づき対応・他スタッフに共有する看護師さん、治療やリハビリ経過に合わせた適切な介護・福祉支援を提供しているソーシャルワーカーなど非常に頼りになる方々ばかりであり、正しくチーム医療を体現した施設であると考えています。

理学療法科 (PT)

病気や怪我などで運動機能や日常生活動作能力の低下した方に対し、解剖学・運動学・生理学などに基づき、筋力、運動耐久性、バランス機能などの向上を目的とした歩行、階段昇降などを行っています。適切なリスク管理の上、発症・術後間もない時期から訓練を開始し早期の在宅・社会復帰を目指します。



作業療法科 (OT)

「作業」とは日常生活活動、家事、仕事、趣味、対人交流など、患者さんにとって目的や価値のある生活行為を指します。その「作業」にアプローチすることで、その人らしく生活できるように支援を行っています。動作訓練以外にも家族指導や環境調整の提案を行い、在宅復帰を支援します。



言語聴覚科 (ST)

脳卒中や頭部外傷などで聞く・話す・読む・書くといったことが困難な方に対して、聞き取り、発声、音読、書字などの訓練や、代替手段の検討を行います。また、嚥下が困難になった方に対する訓練も行い、必要に応じて嚥下造影検査も行っています。



入院から在宅まで地域包括ケアシステムを推進

挨拶

人口の高齢化と医療技術の進歩によって、障害の重症度と複雑さは日に日に増してきています。

リハビリテーションにおいて、多職種によるチームアプローチは重要であり、医師や看護師、ソーシャルワーカー等と協働し日々訓練を行っています。また、より良いリハビリテーションには、セラピスト個人の能力も大変重要です。そのため、教育体制を整えることで、セラピストが自信を持って仕事に臨み、かつ、互いに成長していける職場環境を心がけております。

伊藤麻起子



OUR TEAM MEMBERS

検査科

検査は、臨床検査部門と生理検査部門にわかれています。臨床検査部門では、すべての診療科から依頼される血液などの検査を行います。生理検査部門では、心電図や超音波検査など患者さんに直接関わって行う検査を担当しています。安心して検査を受けられる環境づくり、迅速で的確な検査報告を念頭に患者さんとコミュニケーションをとり実施しています。検査結果は診断、治療に重要なため新しい診断技術取得にも努めています。



臨床工学科

病棟で使用する医療機器の中央管理、モニタ関連装置などの管理を行っています。医療機器の安全確保・維持できるように、定期点検や不具合対応を行っています。また、入院加療中の血液浄化業務（HD・GCAP等）を行っています。医師・看護師・その他部門との連携を大事にし、安全・安心な医療の提供に努めています。



私たちの検査が必要とされる現場がある

放射線科

放射線科はCT、MRI、マンモグラフィー、一般撮影、骨密度測定、特殊検査を行っています。さらに、内視鏡室とコラボしてERCP検査を、救急外来と連携してCT検査やMRI検査、地域医療部と協力して地元クリニックの先生方からの検査を行います。スタッフは12名の放射線技師が在籍しています。そのうち4名は女性技師で、マンモグラフィーだけでなくCT、MRIや他の検査でも活躍しています。被ばくの少ない、正確な検査を心がけるようにしています。



私たちは医療の潤滑油です

地域医療部

地域医療部は、医療連携室、医療福祉相談室、予約センターの3部門で構成されており、地域の医療機関や高齢者施設等と連携を図ることによって、地域住民へ安心で質の高い医療をシームレスに提供する役割を担っています。外来診療・検査の予約、退院調整・支援、医療福祉相談、緩和相談、がん相談、連携機関への訪問、各種勉強会の開催等を主な業務として行っております。



医師には聞けないけれど、あなたなら

薬剤科

薬剤科は、入院調剤、医薬品・輸血の管理、医薬品情報管理、入院患者さんへの服薬説明、癌化学療法における抗癌剤の調整等、様々な業務に取り組んでいます。また、多くのメディカルスタッフと連携をとり、感染防御、栄養管理、褥瘡管理、緩和ケア等のチーム医療に積極的に参画する事で医療の質を上げ、患者さんに安心・安全な医療を提供できる様、日々努力し続けています。



食事はなくてはならない存在です

栄養科

主な業務は栄養管理と給食管理です。栄養管理では多職種と連携しながら、患者さんの栄養状態を把握し、食事内容を提案します。また、退院後に向けての入院食事指導や、生活習慣病などの外来栄養指導、特定保健指導も行っています。給食管理では患者様の治療の一環として、また退院後も参考にして頂けるように委託会社と協働してバランスの良い食事の提供を心掛けています。



総務課

当院の総務課では主に病院運営に必要な各種届出、購買、施設・設備管理業務など、病院における幅広い業務を行っています。職員が安心して業務に集中できるよう後方支援をすることで患者様へ良質な医療を提供できるよう日々努めています。



システム課

院内で扱う情報システムの開発・保守に携わる部門です。主な業務としては、院内システムの開発・保守、ヘルプデスク業務などが挙げられます。「各部門の業務の効率化」や「院内のDX化の推進」に取り組んでおります。



人事課

人事課は、労務・給与管理などの人事業務と、出納・決算管理を担う経理業務を行っています。就業規則や規定の整備、官公庁への手続きなど、多岐にわたる業務を担っています。職員の働きやすい職場環境づくりを通して、患者さんにより良い医療を提供することを目指しています。



医事課

医事課は、患者さんの診療受付から会計まで、そして診療報酬請求業務や統計業務など様々な業務を行っています。治療のために来院された患者さんに快適に過ごしていただくための心配りと、業務の正確性が求められています。



医療クラーク課

医師の指示のもと事務作業の代行を業務とし、各種証明書の「文書作成」、外来部門での「診療補助」、「がん登録」「症例登録」などを行っています。院内でも活躍の場が広がっており、医療の質の向上にもつながっています。



谷津保健病院の挑戦



当院が千葉県習志野市谷津にてスタートをきって40年以上が経過しました。開院当初は高度経済成長・人口増のさなか一般的な急性期病院としてスタートしましたが、今般、我が国における高齢化そして疾病構造の変化に応じて、10年先20年先を見据えた地域医療を提供する病院へと大きく舵をきりました。

具体的には、今後の医療需要が急性期から回復期・慢性期に変化してゆく流れを先取りし、当院独自の急性期医療と回復期・慢性期医療を提供しうる切れ

目のない体制を整え、地域の医療需要にこたえる様々な機能を獲得しました。

人口の高齢化、生活習慣病予防の進歩などにより、「完治をめざした高度な急性期医療」の需要は今後徐々に減じてゆき、国の方針では限られたセンター病院に集約されてゆくものと思われます。一方で、様々な疾患や障がいを抱えた患者さん方の受け皿となる医療機能はまだまだ十分とは言えません。当院はそうした「地域の患者さんたちを支える医療・介護を提供する挑戦」に取り組んでおります。

病気を治すことはもちろん、患者さんの抱える様々な問題に対処することがその役割です。さらに当院が得意とする「消化器疾患」「糖尿病」「乳腺疾患」の診療は地域でのニーズも高く、一層の充実・発展を図っていきます。

谷津保健病院の新たな試みに共感し、ともに地域を支える医療を担っていただける方、ぜひ、谷津保健病院の門をたたいてみてください。

医療法人社団保健会
谷津保健病院 院長
須藤 真児



保健会は、疾病の①予防、②早期発見・精密検査・治療・ケア、③リハビリテーション、④在宅リハビリ・訪問看護を、一連の診療として位置づけ、急性期医療病棟・地域包括ケア病棟・医療療養病棟を持つ谷津保健病院、回復期リハビリテーション病棟と通所リハ・訪問リハ機能を持つ東京湾岸リハビリテーション病院、健診とクリニック中心のメディカルスクエア奏の杜クリニックがあり、津田沼・谷津地域において医療ネットワークを整え、習志野だけでなく近隣地域の医療を支えています。

2023年8月健診に特化した奏の杜クリニック海浜幕張が加わりました。



東京湾岸リハビリテーション病院



谷津保健病院



メディカルスクエア津田沼奏の杜



東京湾岸リハビリテーションセンター



谷津保健クリニック



谷津訪問看護ステーション



奏の杜クリニック海浜幕張

切れ目のない医療ネットワーク

谷津訪問看護ステーション

訪問看護は、24時間365日ご相談に対応できる体制をとり、療養サポートから呼吸器管理まで、ご本人やご家族がご自宅で安心して療養生活を送っていただけるよう、訪問看護師がご家庭を訪問いたします。

急性期、回復期の経験豊富な看護スタッフが、地域の病院・開業医・訪問診療医、介護支援専門員・介護保険事業所との連携のもと、質の高い訪問看護を提供しております。

また、人生の最期を自宅で迎えたいという方には終末期訪問看護も実践しています。



谷津保健クリニック

谷津保健病院外来への通院の利便性を向上させた、かかりつけ機能外来です。病状の安定した患者さんの診療をスムーズに行い、必要な時には、患者さんのカルテを共有している谷津保健病院での検査や入院が滞りなくできます。

また、地域のかかりつけ医として、在宅や施設への往診も行っております。



メディカルスクエア奏の杜クリニック

千葉県習志野市のJR津田沼駅徒歩5分にある健診・ドック主体のクリニックです。高血圧、脂質異常症、メタボリック症候群等の生活習慣病の西洋学的治療はもちろん、西洋学的治療で改善しにくい体調不良（生理不順、更年期、むくみ、冷え性、腹痛や下痢などの消化器症状、ご年齢に伴うお悩み）に漢方治療（エキス剤）、抗加齢学会専門医としてアンチエイジングのご相談やサプリメントのご案内も行っております。



奏の杜クリニック海浜幕張

「皆様の健康をお約束いたします」がメディカルスクエア奏の杜クリニック・奏の杜クリニック海浜幕張のコンセプトです。すべてのスタッフが親切丁寧・スピーディに対応し、専門性の高い医師が的確な診断とアドバイスを提供いたします。



東京湾岸リハビリテーション病院

首都圏最多のリハビリテーション科専門医が常勤する回復期リハビリテーション専門病院です。

科学的根拠に基づくスタンダードなリハビリテーションと先端のリハビリテーションを組み合わせ、より高い機能、障害の回復、さらに、生活動作や活動の向上を目指して治療します。急性期や専門的治療が必要となった場合は谷津保健病院との連携により、質の高い医療を一貫した形でご提供いたします。また、退院後にリハビリテーションが必要な方へは外来や、介護保険を使用した訪問リハビリテーションを提供いたします。



東京湾岸リハビリテーションセンター

東京湾岸リハビリテーション病院に併設された介護保険施設です。生活機能の低下された在宅患者さんを対象に、機能回復に特化したデイケア（通所リハビリテーション）を地域へ提供いたします。動作や機能の維持・向上を目指し「してもらいリハビリ」から「自ら動くリハビリ」をコンセプトに、ご利用者さんの身体状態や生活状況に応じたプログラムを療法士と一緒に作成し、ご利用者さんが主体となり実施していきます。



